

『アングロサクソン資本主義の正体 ～「100%マネー」で日本経済は復活する』 ビル・トッテン 新刊上梓

株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、代表取締役:ビル・トッテン、略記:アシスト)は特定のハードウェア・メーカー・ソフトウェア・ベンダーに偏らない、パッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社で、ビル・トッテンによって1972年に創立されました。

アシスト経営のかたわら、トッテンは日米問題や経済、環境などをテーマに積極的に講演や執筆活動を行っています。このたび金融問題をテーマに、東洋経済新報社より『アングロサクソン資本主義の正体～「100%マネー」で日本経済は復活する』と題して出版する運びとなりました。

なぜ今、世界的な国債危機問題が起こっているのか。なぜ日本政府が借金をしなければならないのか。また常に経済成長を求められるのはなぜか。トッテンはそれが近代の金融制度にあると見ています。つまり、政府が自ら貨幣を発行するのではなく、「信用創造」という名のもとに貨幣発行権を民間銀行に与えたことにあると。しかし、これはトッテン・オリジナルの主張ではなく、歴史上多くの政治家やエコノミストが指摘してきたことであるということも例証しています。

お金とは何か。お金は誰が作っているのか。この本をお読みいただき、ぜひお金は誰のものかという経済の原点をいま一度確認していただき、マネーの仕組みを再考する一助となれば幸いです。

『アングロサクソン資本主義の正体 ～「100%マネー」で日本経済は復活する』



●著者	:ビル・トッテン
●出版社	:東洋経済新報社
●ページ数	:192ページ 四六判 ハードカバー
●定価	:1600円(税別)
●日本図書コード	:ISBN4-492-39535-6 C3033 Y1600E
●販売形態	:全国主要書店での販売

- はじめに 知られざるマネーの支配者
 第一章 カジノ経済 — アングロサクソン資本主義の到達点
 第二章 「マネー」のカラクリ — 銀行の鍊金術
 第三章 「100%マネー」 — カジノ経済を封じ込める処方箋
 第四章 「100%マネー」への反論を反証する
 第五章 「マネー」はいったい誰のものか?
 終わりに マネーに囚われた心からの脱却

■ビル・トッテン プロフィール

1941年米カリフォルニア州生まれ。1963年カリフォルニア州立大学卒業。1969年、米国の大手ソフトウェア会社の一社員として市場調査のために初来日。日本こそパッケージ・ソフトウェア販売の有望な市場であると確信、幹部に進言したものの受け入れられず、退社して自ら資本金100万円、社員7名で日本初のパッケージ・ソフトウェア販売専門会社「アシスト」を設立。京都在住、趣味は読書と菜園。

■株式会社アシストについて

代表取締役:ビル・トッテン

設立:1972年3月

社員数:800名(2010年4月1日現在)

本社:東京都千代田区九段北4-2-1

URL: <http://www.ashisuto.co.jp/>

アシストは、特定のハードウェア・メーカー・ソフトウェア・ベンダーに偏らない、幅広いパッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社です。多種多様なビジネス分野向けソフトウェアの販売および教育／サポート・サービス提供のほか、顧客の課題を切り口としたコンサルティング・サービスを提供しています。顧客の「企業力強化」をテーマに活動を行い、コスト削減、セキュリティ強化、情報活用など、お客様の経営課題を満たす総合提案を行っています。

■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報部 担当:喜田

TEL:03-5276-5850 FAX:03-5276-5895

E-Mail:press@ashisuto.co.jp

ビル・トッテンのコラム

詳細 URL:<http://www.ashisuto.co.jp/corporate/totten/column/>

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。